

「地域とともにある養治小」をめざして

下関市立養治小学校

学校運営協議会について

自治会長、少年相談員、主任児童委員、民生委員、補導員等 14 名の委員の方で構成されています。年間 5 回の主な協議内容は、以下の通りです。

4月	学校経営方針の承認、本年度の活動予定、学校応援団の年間計画、会議室（コミュニティルーム）の活用等について
8月	1学期の学校運営、児童の課題及び3プロジェクト（心・体・学び）の取組、地域貢献、前期学校評価結果及び学校課題について
11月	前期学校行事の反省（運動会、学習発表会等）、「作って遊んでみちゃろう会」について
1月	学校保健委員会への参加、授業参観（人権教育）、授業の様子等について
2月	後期学校評価結果からの反省、学校運営協議会及び学校応援団の活動の反省、次年度の学校運営について

特色ある活動

1・2年生が「七夕かざり」を作る様子。講師は地域の方々。その他、野菜作りでもお世話になります。



ボランティアによる朝学での読み聞かせの様子。ブックトーク等を行う「お話の会」も定期的にあります。



「養治っ子夏まつり」夏休みに、PTA・地域・学校三者で行う行事。平家踊り、出し物、クイズ、夜店等、にぎやかです。



「作って遊んでみちゃろう会」年末にPTA・地域・学校三者で行う行事。工作や餅つき、焼き芋等を行います。



その他、児童の居場所づくりとして始めた昼休みの工作、5年生の初めての裁縫、1・2年生の昔遊びにも、地域の方がボランティアとして指導して下さいます。

また、コミュニティルームは、学校近くの自治会が、お年寄り同士のふれあいの場として、月2回折り紙や工作等で活用されています。

来年度に向けて

地域の力を借りて、行事も学習もより充実したものになってきました。また、「児童を支えることで元気が出る」という声も地域から多く聞いています。しかし、学校に来られる方が限られていることは否めません。今後は、学校の行事により多くの地域の方が参加して下さることをめざし、児童のための行事ではなく「地域の行事」になる工夫をしたり、参観日を楽しみにするお年寄りを増やしたりといった取組を考えていきたいと思えます。そして、日頃の子供たちの様子を共有し、「地域の子供は地域で育てる」という気運を高めていきたいと思えます。

「ふるさと文関」を愛する子供の育成をめざして

下関市立文関小学校

学校運営協議会について

(1) 委員の構成

15名（民生児童委員、スポーツ振興会事務局、文関子ども会連合、PTA役員等）

(2) 実施回数

年3回開催（5月・12月・3月）

(3) 主な協議内容

- ・「“ふるさと文関”を愛する子供を育てるために
～学校・家庭・地域が連携してできること～」
- ・学校評価について
- ・学校の取組について



↑ ミニ熟議のようす

特色ある活動

◆学習協力ボランティア活動

本年度は保護者を中心に71名の登録があり、校外学習や水泳学習の見守り、ミシンや小刀の指導補助など学習の支援者として協力をいただきました。

◆学校開放DAY

10月18日（木）、地域の方や保護者が気軽に学校に足を運ぶきっかけとなるように、授業公開とあわせて、図書室にお薦めの本を展示したり、ランチルームに「おしゃべりカフェ」を設けたりしました。また、大人も授業に参加しやすいように外部講師を招いての「出汁の学習」や「生け花教室」も開催しています。



↑ 町探検の見守り

◆ふれあい給食

自校給食という特性を生かして、地域の方や保護者を招いてのふれあい給食を実施しています。子供たちとのふれあいを深めるとともに、本校の食に関する指導の実態をお知らせするよい機会ともなりました。



↑ ふれあい給食

◆日新中学校区での共通実践

日新校区青少年健全育成協議会のクリーン作戦に6年生が参加しています。中学生や地域の方と一緒に、校区内のゴミ拾いを行いました。地域に貢献するこの活動を通して「ふるさとを愛する心」が醸成されていると感じます。

来年度に向けて

5月に実施した学校運営協議会で、「たくさんの大人と温かくふれあった経験が、子供たちの『ふるさとを愛する心』を育てていくのではないか」という意見をいただきました。子供たちは様々な活動の中で、地域の方や保護者に温かく見守られながら、安心してそして楽しく学習に取り組んでいます。

来年度はHPや学校だより等を活用して、小中連携を柱とした地域連携教育のよさをより多く広報し、学校と地域・保護者を繋ぐこの温かな輪を更に広げていきたいと考えています。

地域とともにある学校づくりをめざして

下関市立日新中学校

学校運営協議会について

主な協議内容（各学期1回実施）

- ・学校運営方針の周知と承認
- ・本年度の組織および活動について
- ・学校課題・評価や情報等の共有
- ・協育ネット飛雁との連携と協力
- ・働き方改革について



特色ある活動

◆地域ボランティアによる学校支援活動

【学習環境整備支援 ～校地内清掃～】

1・2学期の週休日に、校地内の環境整備活動を多くの地元企業の協力を得て実施しています。年に2回、日頃の手の届かない高木の伐採や草刈りなどを行っていただいているお陰で、一年を通じて気持ちのよい環境の中で教育活動を展開することができます。そして生徒は、献身的に作業をされる大人の背中を見ることで、学校や地域に貢献することの大切さを学んでいます。

◆熟議の実施

実施日：平成30年6月29日（金）

テーマ：地域で育てたい子ども像とそのための取組

参加者：約100名

日新校区青少年健全育成協議会が主催する「校区懇談会」で各自治会に分かれて熟議を行いました。積極的な意見が交わされ「あいさつができる」「夢をもってがんばる」「ふるさとを愛する」等多くの貴重な意見が出されました。そして最後は「まずは我々大人がその姿を見せていきましょう」と締めくくられました。



◆学校の重点目標等の評価者との共有

学校評価を年2回実施していますが、項目によっては評価対象を「生徒」ではなく「評価者(保護者・教職員等)」に向けたものも入れています。例えば「あいさつ」に関する項目では「ご自身はお子さんや地域の子どもにあいさつをしていますか」とか「いじめ防止に向けた取組」では「ご家庭でいじめ防止や安全に関する話をされますか」といった感じです。学校の重点取組を家庭や地域と一緒にできればという思いから実施しているものです。



来年度に向けて

今後も「地域とともにある学校づくり」の推進に向けて、現在実施している多くの活動を大切に育んでいきたいと思えます。そのために、常にその活動が何のために実施されているのかという「原点」に立ち返り、そして地域や保護者のみなさんに感謝する気持ちを忘れずに、毎年代わる生徒・教職員に繋いでいきたいと思えます。